



## 春はそこまで来ている



立春が過ぎ、春はそこまで来ます。今は寒さが厳しく辛いですが、必ずやってくる春が待ち遠しいですね。

都立高校一般入試直前、緊張や不安の入り交じる3年生もいると思いますが、「頑張れ、頑張れ」「大丈夫、大丈夫」と心の中でエールを送っています。3年生に限らず、誰でも緊張や不安にかられることはあるでしょう。

「世界最高のテノール歌手」「黄金のトランペット」のマリオ・デル・モナコ、オペラの主演として、世界的な演奏家も、本番前には怖さ、緊張と必死になって闘ったそうです。「おれはダメだ。今日ではできない。東京の初日に失敗したら『マリオはもう終わりだ。』と世界中でいわれる。」楽屋の出口の方に

走って逃げようとしたというエピソードを聞いて、どんなプロでも、自信がありそうに見える人でも、自分と同じ人間なのだということがわかり、急に身近に感じます。初日はいつもこうなのだそうで、世界一を保つつらさ、悲しさ、孤独が伝わってきます。

世の中に緊張もせず、恐怖も感じない人はいないのです。しかし、人の心は見えにくいものだからこそ、周りの人の顔が平気そうに見えてしまっ、よけい焦りを感じ、「自分だけが不安になっている。」と思ひこんでしまうのです。

ところが、周りの人も自分と同じようにやはり不安な気持ちになったり、悩んだりしているのです。

さて、こういうときは、どうしたらいいのでしょうか。不安になってい

る自分に寄り添ってあげたらどうでしょうか。不安に思うことは当然のことです。それが正直な自分の心だと向き合えばいいのです。「不安なんだよね、自分」

もう一人の自分が、外から眺めているように、まず、落ち着いて「自分」を見つめてみましょう。上手に答えたり、うまくいっている自分を想像してみましょう。ああいうふうになれたらいいなという場面を想像して、第三者的に眺めている自分。すると、少し落ち着いてそこからスタートできるようなパワーがわいてくることでしょう。



## 念ずれば花ひらく

坂村真民(さかむら しんみん)

苦しいとき  
母がいつも口にしていた  
このことばを  
わたしもいつのころからか  
となえるようになった  
そうしてそのたび  
わたしの花がふしぎと  
ひとつひとつ  
ひらいていった



この詩には、「何事も一生懸命に祈るように努力をすれば、自ずから道は開ける、夢や目標がかなう」という思いが込められています。ただ念じていれば、夢がかなうという意味ではありません。また、「念」という字を分解すると「今」と「心」になります。これは「今、目の前にある事に心を込めて一生懸命やる」ということです。「念」とは、「今の心」であり、「今、目の前にある事を一生懸命やること」を表しています。さらに「念じる」という言葉には「実践する」という意味があります。つまり、「今」を大切に生きていくと、自分の花が開くときが必ずくるのです。

念ずれば  
花ひらく



# ワークショップ

20年後の西東京市を予想しよう

## 経験値を上げています

7月の「きゅうりの切り方テスト」から始まり、12月の「鮭のホイル焼き」、2月には「豚の生姜焼き」の調理実習を実施しました。クリアボードを挟んで作業を行い、黙食で喫食という新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底して行いました。初めての調理実習だからか、きゅうりの切り方がわからないのか、戸惑っていた印象的でした。2回目の「鮭のホイル焼き」の時も時間内に食器洗いまで終了できず、昼休みに片付けをする班もありましたが、今回の「豚の生姜焼き」は、手慣れた手つきで、生姜のすりおろし担当、豚肉の筋切担当、キャベツの千切り担当が気持ちよく作業に入り、大きな成長を感じ、嬉しくなりました。

3月には、3年生が初めてで最後の調理実習「マフィンづくり」に取り組みます。楽しみですね。



## 地域とともに

今年度から、本校は、コミュニティスクールとして始動しております。

地域の方々や保護者の意見を学校運営に反映し、地域とともにある学校づくりを実現するために、年5回の学校運営協議会を開催し、学校運営に関する基本方針の承認を始め、教育活動報告、課題の把握や学校運営に関する協議を行ってまいりました。また、課題を解決するためにご助言をいただいたり、地域の皆様によるご支援をいただき、「生徒たちにとって魅力ある学校」に一步一步、近づくよう努めてまいりました。

今後も、学校と地域が一体となり、柳沢中学校の生徒にとってよりよい教育活動となるよう展開してまいります。

12月に実施しました「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。現在、コミュニティスクールの皆様に学校関係者評価をまとめていただいております。完成後に保護者の皆様にご報告させていただきます。

分析結果を来年度の学校経営に生かしてまいります。



西東京市における次期教育計画策定に向けて、子どもたちの自由な意見を抽出して得られたキーワードを次期教育計画の基本方針、方向及び取組事業などに反映することを目的として、ワークショップが開催され、本校の第1学年の生徒が参加しました。20年後の西東京市はどうなっているのか、今の自分が20年後の西東京市にタイムスリップしたと仮定して学校や地域の未来の変化を予想してみました。

テーマ：「未来の西東京市の学校を描こう！～未来予報士になってみよう～！」

アイスブレイクタイムでは、3つの視点で西東京市のいいところ見つけをしました。

視点1：「まちを見わたすと？」

視点2：「授業や学校生活は？」

視点3：「自分の地域のイベントや地域の人たちは？」

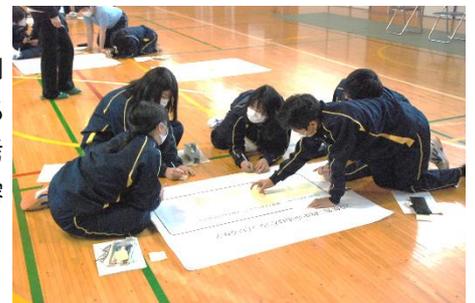
ワークショップでは、「未来の変化を予想しよう！」ということで、「20年後の西東京市はこうなりたい」というテーマでいろいろな意見や考えが出されました。子どもたちの姿：「笑顔があふれている」「外で元気に走り回って遊ぶ子供たち」

周りの大人の姿：「やりたい職業についている」「お父さんやお母さんが仕事で遅い時間に帰ってくることなく、家族と時間を一緒に過ごしている」

先生や学校の姿：「一人一人に合った授業」「A！が授業を進めてくれ

る」「校則がない」

「いつ登校してもいい」なかなか考えさせられる内容ですね。



## 入学予定者保護者説明会

令和5年度入学予定者保護者説明会が開催されました。75名の保護者の方にご出席いただき、ありがとうございました。

校長挨拶や教務主任、生活指導主任、PTA会長の話の他に、生徒会役員たちが柳沢中生の学校生活を紹介いたしました。柳沢中一同、ご入学をお待ち申し上げております。

